

2019政策フォーラム②

第1セッション：職場現実を出発点とした、安全確立に向けて

○庫2番線(融雪線)を有効に活用する！

～汚物採取、給水装置の改良で有効な車両運用と緊急時の車両取り込みに対応する！～

盛岡地本：盛岡新幹線車両センター青森派出所分会

庫2番線は、車両に付着した雪を融雪する装置を設置した専用線です。その為、汚物採取装置と給水装置が設置されていません。過去にも汚物処理装置の新設を提言しましたが実現できませんでした。しかし、過去には臨時で汚物処理を依頼された際、対応できず断ったケースもあり、現場からは要望の声が多くあります。

そのような現状を踏まえ、提言では新設では困難という現況を踏まえ、既存の装置に延長ホース等を設置する方法で、庫2番線でも作業が行える事で5つの効果がある事を訴えます。車両故障や災害などによる運用ダイヤの乱れや変更が生じた場合など、運用ダイヤの柔軟な対応ができ、指令所及び当直でのダイヤ変更を効率的に行うことができるため、早期のダイヤ変更が可能となり、様々な状況に対応できる運行体制が可能になる事を提言します。

鉄道運輸支援機構の財産だと工事が困難・・・

復旧を目指す長野新幹線車両センターも鉄道運輸支援機構の財産です。

○「工務職場の将来像」～安全で安心できる未来の職場～

部会：工務部会

職場の将来像を示す中で求められているものと、施策の検証と事故への対応力をリンクさせて考えてきました。

「変革2027における新たなジョブローテーション」の中にある「キャリア加算」についても議論をしてきました。議論のなかから「安全指導」と工務職場における「キャリア加算」について、部会として提言します。

事故の連鎖が止まらない！！

安全指導体制の確立と、将来を明るく思い描ける職場と制度が必要です。

③へ続く